



2023年5月15日

各位

会社名 株式会社ゼネラル・オイスター
代表者名 代表取締役社長 吉田 秀則
(コード 3224 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 芝田 茂樹
(TEL. 03-6667-6606)

2023年3月期 通期業績と前期業績との差異（連結・個別）及び

特別利益の計上（個別）に関するお知らせ

当社は、2023年3月期累計期間の通期業績（連結・個別）につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、下記の通り特別利益（個別）を計上致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 通期業績と前期実績との差異について

(1) 連結

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前期実績(A) (2022年3月期)	2,539	△283	△288	287	82.25
当期実績(B) (2023年3月期)	3,764	127	128	138	34.37
増減額 (B)－(A)	+1,225	+410	+416	△149	—
増減率 (%)	+48.2	—	—	△51.9	—

(2) 個別

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前期実績(A) (2022年3月期)	357	△14	△15	307	88.09
当期実績(B) (2023年3月期)	549	△5	0	148	37.06
増減額 (B)－(A)	+192	+9	+15	△159	—
増減率 (%)	+53.8	—	—	△51.6	—

2. 差異の理由について

連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症に対する制限緩和に伴い大幅な増収となったことに加え、店舗事業における過去2年間進めてきた原価低減、モバイルオーダーシステム導入による少人数で運営できる体制作りを進めてきた結果、営業利益、経常利益については、2015年3月期以来の黒字を確保することができました。一方、親会社に帰属する当期純利益については、前期に新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等の補助金収入を625百万円計上していたことから、減益となっております。

個別業績につきましては、海産物の受託事業の売上増加に伴い、増収となりました。当該増収により、営業利益、経常利益の収支が改善しております。また、事業損失引当金戻入益が減少（前期実績 337百万円 当期実績 153百万円）したことから、当期純利益は減益となっております。

3. 特別利益の計上について

連結子会社の株式会社ヒューマンウェブの業績が改善されたことにより、事業損失引当金戻入益 153百万円を計上しました。なお、当該利益は、当社の個別財務諸表のみ計上されるものであり、連結決算において消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上